

第2学年生活科学学習指導案

平成16年10月5日(火) 2校時

2年1組(男子15名,女子14名,計29名)

指導者 足澤 知恵美

1 単元名「ぼくらの町へとびだそう」 ~レッツゴー!のりものに乗って行ってみ隊~

2 単元について

(1) 児童の実態

子供たちの周りには、公園、駅、郵便局、シビックセンター、総合スポーツセンター、図書館などさまざまな公共施設があり、歩いて行ける場所にあるため比較的利用している児童も多い。しかし、公共の乗り物に関しては、通学路や学校付近を走るバスを日頃から目にしているものの、ほとんどの家庭において目的地への移動に自家用車が使われているため、バス通学児童以外で路線バスを利用したことのある児童は半数にも満たない。また、1人で乗ったことのある児童はごくわずかである。このようなことから路線バスに乗ってみたいという児童が多い。

子供たちは1学期の『九戸城跡での春探し・夏探し』、『町探検』を通して地域に親しんできた。町探検では、グループごとに行き先を決めて自分達の願いに添った計画を立てて探検し、地域の人とふれあいながら自分達の住む町について関心を強くもち、よさを感じることができた。また、グループで相談し力を合わせて問題を解決する活動も経験し、人や場所や自然に自分から関わっていかうとする姿が多く見られるようになった。

(2) 単元のあらまし

本単元は、学習指導要領の内容(4)「公共物や公共施設はみんなのものであることやそれを支えている人々がいることが分かり、それらを大切にし、安全に気を付けて正しく利用することができる。」を受けて設定した。子供たちにとって公共物や公共施設を利用することは、自分自身の生活を広げたり、豊かにしたりするために大切なことである。乗り物を利用する方法やそこに働く人々の様子がわかるだけでなく、乗り物という公共機関の利用を通して得られる社会性・道徳性を身につけることをねらいとしている。地域の一員として生き、自立していく上での基礎を養うことをねらう生活科の単元の中で大きな意義をもつと考える。

(3) 指導にあたって

本単元は、「町ともっとなかよくなるよう」「たんけんのでかけよう」「町のすてきをはっぴょうしよう」の三小単元で構成する。

ふれる段階では、学校近くのバス停や走行するバスを観察することでいろいろな地域にバスが運行されていることに気づかせ、もっと知りたい、乗ってみたい、行ってみたいという意欲をもたせる。

かかわる段階では、どうすれば目的地まで行けるかを考え、その解決に向けて家の人や関係機関に聞くなどの調査活動を行う。また、目的地に安全に確かに行くためにはどんな準備が必要か、路線バスや電車に乗るときに気をつけることは何かなどについて話し合わせ、探検の計画を立てる。

ひろげる段階では、初めに公共の乗り物を利用して町探検をし、見つけたことやわかったこと

をカードに記述し家族に知らせる。次に、互いに見つけたことや分かったことを知らせ合う機会を持ち、学習した内容を確認し合い、互いのよさを認め合えるようにする。最後に、お世話になった方へ感謝の手紙を書くことによって、学習後も地域の方や施設とのかかわりがさらに深まることを期待したい。

本単元における具体的な手立て

| | 三つの手立て | | 具体的な取り組み |
|---|----------------------|---------------------|---|
| 1 | 学習への意欲と見通しをもたせる導入の工夫 | 興味や関心をもたせる導入の工夫 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 1学期の町探検を想起させもっと遠くへ出かけたいという意欲をもたせる。 ・ 路線バスのバス停や走行中のバスの観察を通して、遠くへ探検に行くことができそうだという見通しをもたせる。 |
| | | 既習事項の確認 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 1学期の町探検で発見した福岡のよさを確認させ、さらによさを発見しようという意欲をもたせる。 |
| 2 | 学び合いを充実させるための工夫 | 学習形態の工夫 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 課題ごとのグループを作り、互いに教えあい情報を交換しながら調査活動や発表を行う。 ・ グループ学習、ペア学習により互いのよさに気付くことができるようにする。 |
| | | よりよい考えを練り上げていくための工夫 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 各自調べたことや考えたことを、全員の活動につなぐ過程に話し合い活動を設定する。 |
| 3 | 振り返りの工夫 | 自己評価の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の学習について、挙手や発言、振り返りカードなどにより振り返りを行わせる。 |

3 単元の目標

公共の乗り物の利用や関係機関で働く人とのふれあいを通して、公共物や公共施設はみんなのものであることやそれを支えている人々がいることに気づき、それらを大切にし、安全に気をつけて正しく利用することができる。

4 評価規準

(1) 「公共物や公共施設の利用」の評価規準

| 生活への関心・意欲・態度 | 活動や体験についての思考・表現 | 身近な環境についての気付き |
|-------------------------|--|--|
| 公共物や公共施設を大切に利用しようとしている。 | 公共物や公共施設の利用のしかたについて考えたり、安全に気を付けて正しく利用することができる。 | 公共物や公共施設はみんなのものであることや、それを支えている人々がいることが分かる。 |

(2) 単元の評価規準

| 生活への関心・意欲・態度 | 活動や体験についての思考・表現 | 身近な環境についての気付き |
|---------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|
| 公共物や公共施設に関心をもつ。 公共施設で働く人やそれを | みんなで使うための利用の仕方について考えたり、工夫したりすることができる。 | 電車やバスには関わるさまざまな施設があり、多くの人利用していることに気付 |

| | | |
|---|--|---|
| <p>利用する人と親しみをもってかかわろうとする。</p> <p>公共物や公共施設に関心をもって利用する。</p> <p>公共物や公共施設をみんなのことを考えて利用しようとする。</p> | <p>電車やバスのルールやマナーを守って利用することができる。</p> <p>公共物や公共施設などを利用したことや利用して楽しかったことなどを表現することができる。</p> | <p>く。</p> <p>公共施設にはそれを支えている人々がいることに気付く</p> <p>公共物や公共施設を利用すると、自分達の生活が楽しく豊かになることに気付く。</p> |
|---|--|---|

5 指導計画（指導時数：13時間）

| 活動の流れ | 時 | 小単元 | 活動計画 | 評価規準 |
|-------|-------------------------------|----------------|---|---|
| ふれる | 1 2 | 町ともつとなかよくなる | ・町探検のことを想起しながら、二戸にはほかにどんな地域があるか話し合う。 | (関) 駅やバスなどの公共施設に関心を持って探検に行く場所を決める話し合いをする。 |
| かかわる | 3 4 5 (本時) 6 7 | たんけんに行こう | <p>・町探検に行くためにどのような手段を使ったらよいか話し合う。</p> <p>・探検に行くために必要なことを調べ、計画を立てる。</p> <p>・バスや電車の仕事について考え聞きたいことをまとめる。</p> <p>・インタビューやあいさつの練習をする。</p> <p>・約束を話し合い、乗り方等を練習する。</p> | <p>(関) 探検に行く話し合いに進んで参加する。</p> <p>(気) バスの乗り方、料金、持ち物など探検に必要なものに気付く。</p> <p>(気) 電車やバスには関わるさまざまな施設があり、いろいろな人が訪れ利用したり、それらを支える人々がいたりすることに気付く。</p> |
| | 8 9 10 11 | | <p>・バスや電車に乗って探検に出かける。駅やバスの営業所などの様子を見たり、働く人にインタビューしたりする。</p> | <p>(思) 電車やバスで、公共施設のルールやマナーを守って利用することができる。</p> <p>(関) 公共施設で働く人とかかわることができる。</p> <p>(気) 電車やバスには関わるさまざまな施設があり、いろいろな人が訪れ利用したり、それらを支える人々がいたりすることに気付く。</p> |
| ひろげる | 12 13 | 町のすてきをはっぴょうしよう | <p>・探検したことをまとめ活動を振り返る。</p> <p>・お礼の手紙を書く。</p> | <p>(思) 電車やバスを利用したことを絵や文で表すことができる。</p> <p>(気) 公共施設を利用することは、自分達の生活が楽しく豊かになることに気付き、カードに振り返ることができる。</p> <p>(思) 公共施設支えている人に手紙を書き、利用して楽しかったことなどを表現することができる。</p> |

6 本時の指導

(1) ねらい

電車やバスに関わるさまざまな施設があることと、支える人々がいることに気付く。

電車やバスに関わる仕事を支える人に聞きたいことを考えまとめようとする。

(2) 展開

| 学 習 活 動 | 時間 | 教 師 の 指 導 ・ 支 援 | 評 価 【手立ての評価】 |
|------------------------------------|----|--|--|
| 1 本時のめあてを確認する。 | 5 | <ul style="list-style-type: none"> ・計画絵地図につけたしたいことがないか確認し、あった場合はカードに記入し付け足し、授業以外での気付きや発見も大事にする。 ・働く人にインタビューする内容を考えることを確認する。 | |
| バスや電車の仕事をする人へのインタビューを考えよう。 | | | |
| 2 電車やバスの運行に携わる人について話し合う。 (学び合い) | 20 | <ul style="list-style-type: none"> ・子供たちから知っていることを発表させるとともに、バスの運転手さんや駅のホームで見かける駅員さんの他にも、バスの営業所や駅には仕事をする人々がいることを写真で知らせる。 ・写真・ビデオ・道具などから、場所や仕事について予想し、聞きたいことにつなげる。 | <p>【施設や働く人の写真の提示は意欲付けおよび、学び合いを促すために効果的だったか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電車やバスに関わる施設があることと、支える人々がいることがわかる。(発言・カード) |
| 3 聞きたいことをまとめる。 | 15 | <ul style="list-style-type: none"> ・聞きたいことを考え、カードに記入しまとめさせたい。 ・机間指導の中でそれぞれのカードに目を通し、働く人と触れ合おうとする姿勢を認め賞賛する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・聞きたいことを考えようとしている。(発言・カード) |
| 4 質問したいことを発表する。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・質問したいことを発表し合い、互いの視点のよさを認め合い、自信を持たせる。 | |
| 5 本時をふりかえり、次時の活動を確認する。 | 5 | <ul style="list-style-type: none"> ・質問を地図に書き加え、これまでの学習と結びつけ学習内容を整理する。 ・券売機での切符の買い方や、乗車中のマナーについて話し合ったり練習したりすることを確認する。 | |

(3) 具体の評価規準と指導の手立て

| 領域 | A | B | Bに至らせるための手立て |
|------------|---|---|--|
| 公共物共や施設の利用 | <ul style="list-style-type: none"> バスや電車の運行に関わっているいろいろな施設があり,それぞれに仕事をする人がいることが分かる。 | <ul style="list-style-type: none"> バスや電車の運行に関わっているいろいろな施設や仕事をする人がいることが分かる。 | <ul style="list-style-type: none"> バスや電車の運行に関わって働く人や,関係する場所に興味をもつことができるような資料を提示する。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 働く人や場所に興味をもって,教えてもらいたいことを考えまとめることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 働く人から教えてもらいたいことを考えている。 | <ul style="list-style-type: none"> 仕事をしている人や,駅・営業所の写真を確認しながら,聞きたい相手を考えさせ,聞きたいことを一緒に考える。 友達の質問を参考にし,聞きたいことを考えさせる。 |

7. 板書計画

ぼくらの町にとびだそう。
レッツゴーもっととおくへ行ってみよう。

バスや電車の仕事をする人へのインタビューを考えよう

インタビューしたい人
バスのうんてんしゅさん
えきのホームにいるえきいんさん

施設や働く
人の写真

施設や働く
人の写真

施設や働く
人の写真

バスや電車のしごとにはいろいろある。
たくさんの人が仕事をしている。

計画絵地図

インタビューの主なものを吹き出しに記入して示す。

『ぼくらの町にとびだそう』

～レッツゴー！のりものによって行ってみたい～

2年 組

バスや電車のしごとをする人へのインタビューを考えよう

だれにきいてみたいですか

〔きいてみたい人のしごと _____〕
〔しごとをしているばしょ _____〕

〔きいてみたい人のしごと _____〕
〔しごとをしているばしょ _____〕

どんなことをききたいですか

(お話しするとおりに書いてみましょう)

